

* フルーリボン賞、毎日映画コンクール他
数々の受賞に輝く

成島東一郎
第1回監督作品

遠い日の母は美しく

青幻記

カラー作品・せいげんき

南の海は哀しみゆえに青く澄み 美しき母へのひたすらな涙にむせぶ

田村 高 廣
賀 来 敦 子
山 岡 久 乃
浜 村 純
藤 原 釜 足
殿 山 泰 司

新 井 庸 弘 (子役)
伊 藤 雄 之 助 (特出)

■
制作 加 藤 辰 次
成 島 東 一 郎

原作 一 色 次 郎

撮影監督 成 島 東 一 郎

音楽 武 満 徹

協力 東 亜 国 内 航 空
大 島 運 輸



青幻記プロダクション制作
東和配給



お得な特別鑑賞券ご1名様550円

〈自由席・一般700円・学生600円のところ〉

●お問合わせは東和渉外係562-0111、または劇場(571)1946へ

■ 2月24日(土)よりロードショー

有楽町
日劇前
シネマ 1 (57)

*ブルーリボン賞、毎日映画コンクール他
数々の受賞に輝く…

成島東一郎第1回監督作品
原作■一色次郎

青幻記

せいげんき

遠い日の母は美しく

カラー作品
青幻記プロダクション制作■東和配給



■かいせつ

この世に生を享けたものにとって、母性、母なるものへの回帰は、いつになっても懐かし、温かみを感じさせる。年を経るにつれていつそその印象は深まってゆく。

大宰治賞受賞に輝く一色次郎の「青幻記」はそうした母と子の愛の通い合いを美しく、哀しく謳いあげた感動の名作である。

「古都」「雪国」「心中天網島」「儀式」など数々の名作のカメラを担当してきた名カメラマン、成島東一郎が監督第一回作として選んだのがこの「青幻記」である。これまでに何度か映画化の企画のあった「幻の名作」といわれ、さまざまな制約から実現をみなかったのを、原作にほれこんだ成島監督がみずから「青幻記プロダクション」を結成、長い努力のすえ、ついに完成させたのである。

鹿児島島からさらに南へ三八〇キロ、奄美諸島のひとつ、沖永良部島の美しい自然を舞台に、幸うすき母と、その母と幼くして別れなければならなかった、やはり幸うすき子とのこまやかな情愛を描いているが、青く澄んだ海と空、華麗さをきわめるサンゴ礁を背景に、母と子の哀しみがいつそう鮮烈に浮きぼりにされている。

脚本は成島監督のほか平岩弓枝らが参加、母を慕う主人公の心にゆきかう過去と現在を自由に交錯させ、妖しいまでに美しい情念の世界を展開させていく。

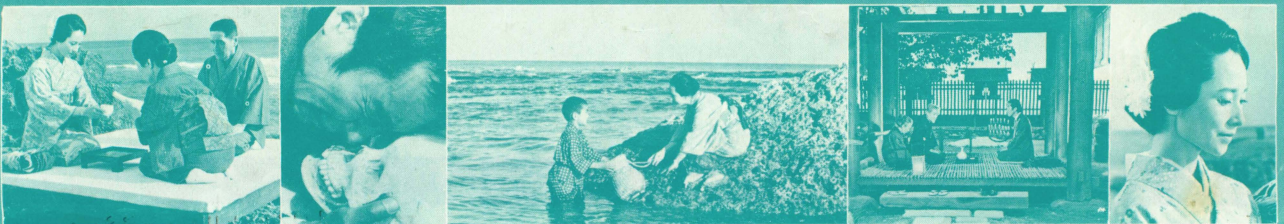
主演は手がたい演技に定評ある田村高廣、新人賀来敦子。ほかに藤原釜足、山岡久乃、原泉、伊藤雄之助ら、ベテラン、名優たちが傍をかため、重厚な演技をきそっている。特に子役の新井庸弘のいじらしさが涙をさそう。現地ロケが美しい。

(上映時間・一時間五十七分)

■ものがたり

わたし(田村高廣)は、三十年たった今も、母のことが忘れられない。ふるさとの沖永良部島の青い海と白いサンゴ礁のなかに、なつかしく、くつきり見える。ついに島を訪れたわたしは、母の幻を見た。そして、竹藪に覆われ、つたかづらのからむ、主を失った屋敷で、すっかり老いた鶴禎老人(藤原釜足)に会った。過ぎ去った昔の、戦争のこと、わたしの母に恋し、サンシルを弾いて幾夜も誘った想い出を、うすれた記憶にたどる老人だった。わたしの追憶も、あの三十年前の情景を、ありありとよみがえらせていく。若く美しい母(賀来敦子)と、幼いわたし(新井庸弘)の日々を。……鹿児島島の祖父(伊藤雄之助)と、祖父の妻のたか(山岡久乃)とくらしいたつらい生活から逃げるようにして、船に乗り、島を初めて見たのは、母が三十才、わたしが小学校二年生、昭和となつてまもない頃だった。その日、空は美しく晴れていたが、風が強く海はいちめん白く泡だつて、船は港に入ることができず、島の北端の浜に渡し舟でおろされた。母の家のある南端の部落まで、わたしは、病いと旅の疲れに歩くのがつらうな母の手をとつて、遠く見知らぬ道を歩きつづけた。母と祖母(原泉)とわたしの三人の、貧しくとも温く肩を寄せ合った島の生活が始まった。

母は、学校帰りのわたしを毎日迎えてくれた。それよりも、わたしは一度でもいいから、母に抱きしめてもらいたかった。しかし、母は、病いのうつることを恐れて、決してわたしにふれなかつた。台風くる頃、海は荒れ、島の食糧は枯れ、灯りの油すら買えず、闇の中でひっそり眠った。それでも、年に一度の敬老の宴で、村人たちは夜のふけるまで、酒をくみ、踊り、波の音に耳を傾け、月を眺めた。母が踊った。かがり火に映え、悲しみをはくような胸苦しいまでに美しい踊りであった。そして、冬のある晴れた日、サンゴ礁で、草舟を浮かべたり、魚を捕つたりして、半日を遊んだ母とわたし。それが、母とわたしの最後の日であった。母の葬いの日。母の死の理解できないわたしは、祖母につれられ、ユタを訪ねた。ユタの夜、わたしは、母の声を幻のようにきいた。稔さん、お母さんは、一度でいいから、あなたを力一杯抱きしめてあげたかった……稔さん……稔さん……



田村高廣／賀来敦子 山岡久乃／浜村 純／藤原釜足／殿山泰司 新井庸弘(子役)／伊藤雄之助 (特出)